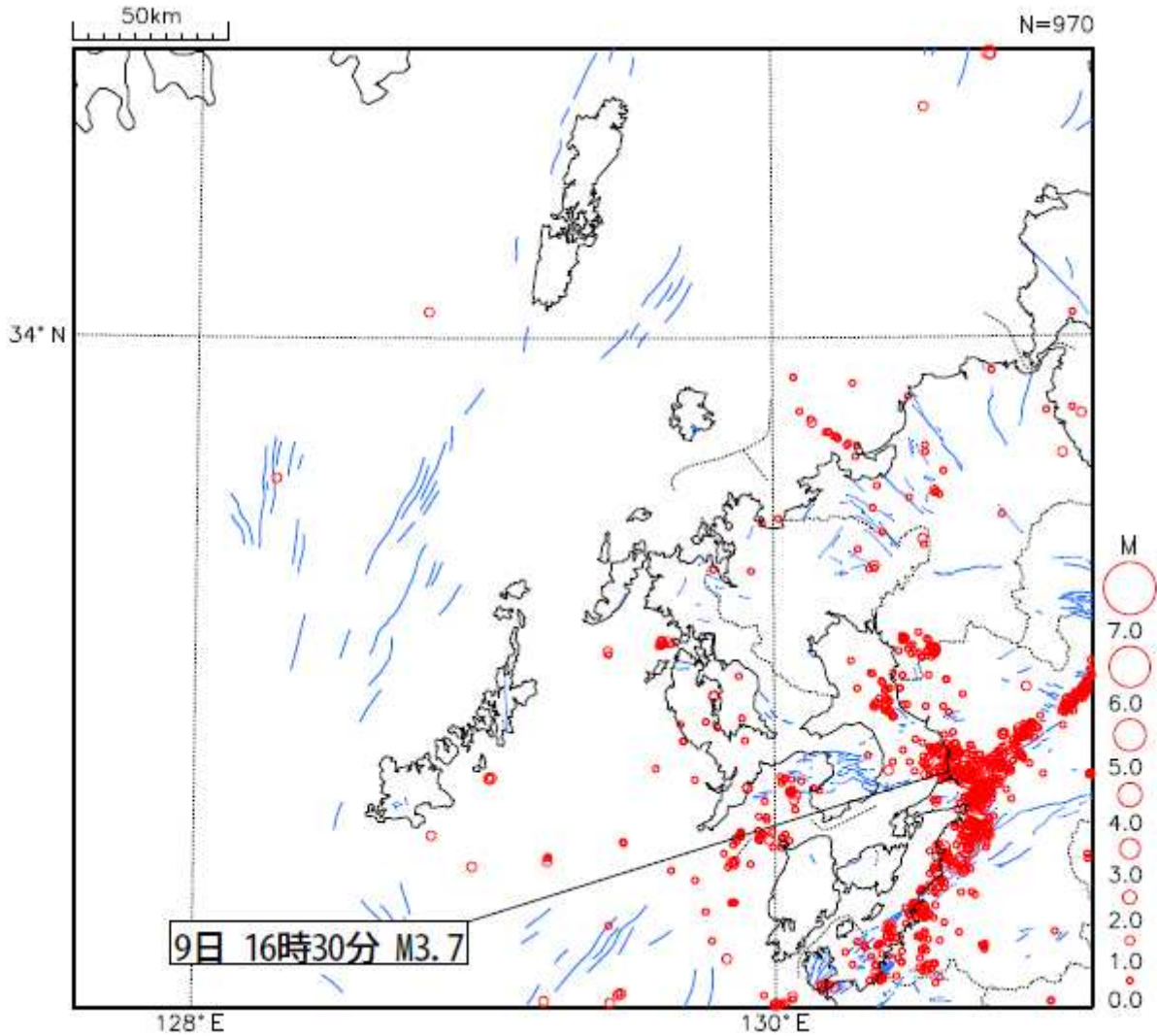


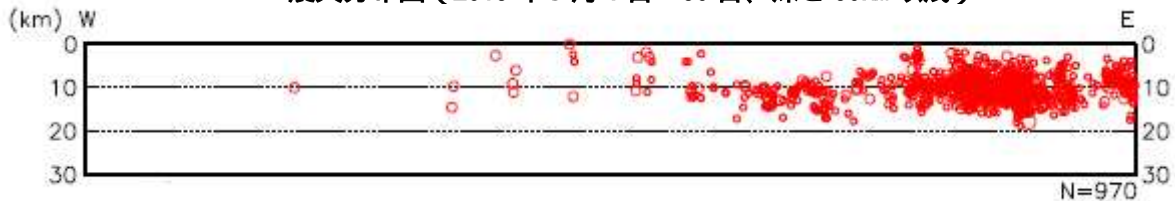
長崎県の地震活動概況 (2018 年 9 月)

平成 30 年 10 月 9 日

長崎地方気象台



震央分布図 (2018 年 9 月 1 日 ~ 30 日、深さ 30km 以浅)



断面図 (2018 年 9 月 1 日 ~ 30 日、深さ 30 km 以浅)
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

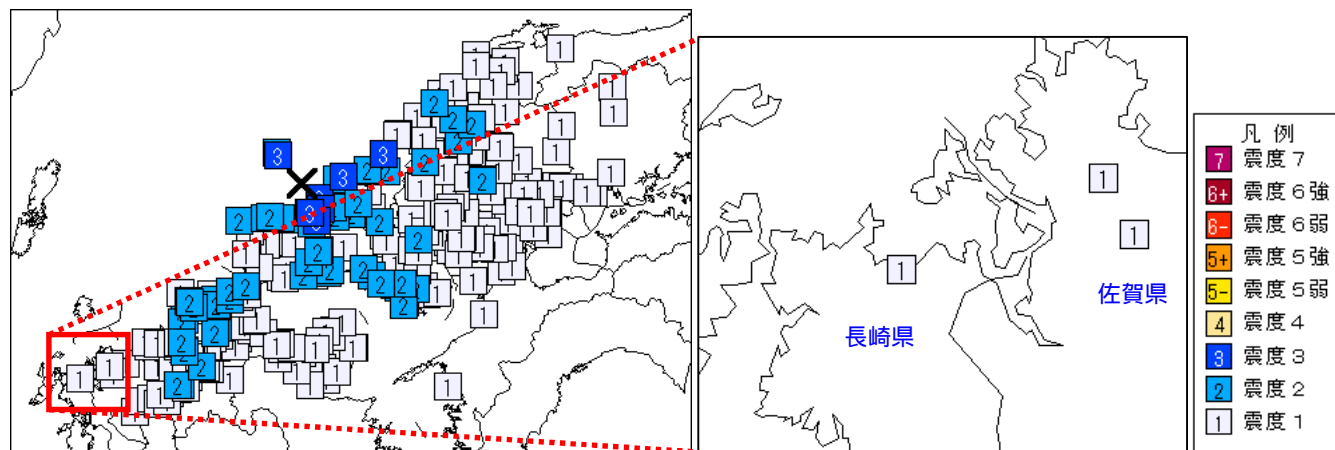
地震活動の概況 (2018 年 9 月)

9月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は2回でした(8月:3回)。詳細は次頁以降のとおりです。

本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す(活断層のデータは新編日本の活断層による)。本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

山口県北西沖（1頁震央分布図領域外）

3日 06時 47分に山口県北西沖で発生した M4.6 の地震（深さ 16km）により、山口県、島根県で震度3を観測したほか、中国・四国地方から九州北部にかけて震度2～1を観測しました。長崎県では、松浦市で震度1を観測しました（図1、表1）。



9月3日 06時47分 M4.6
図1 震度分布図（観測点別、×：震央）

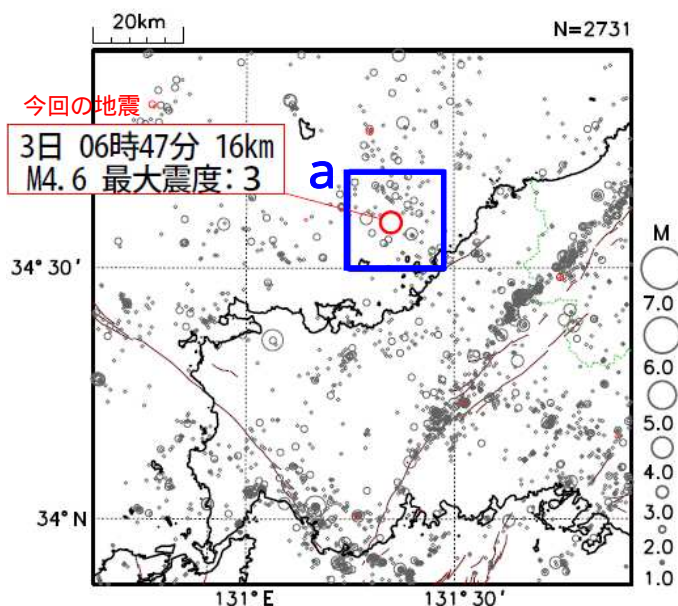


図2 震央分布図
(1997年10月1日～2018年9月30日 深さ0km～30km M 1.0)
2018年9月の地震を赤で表示

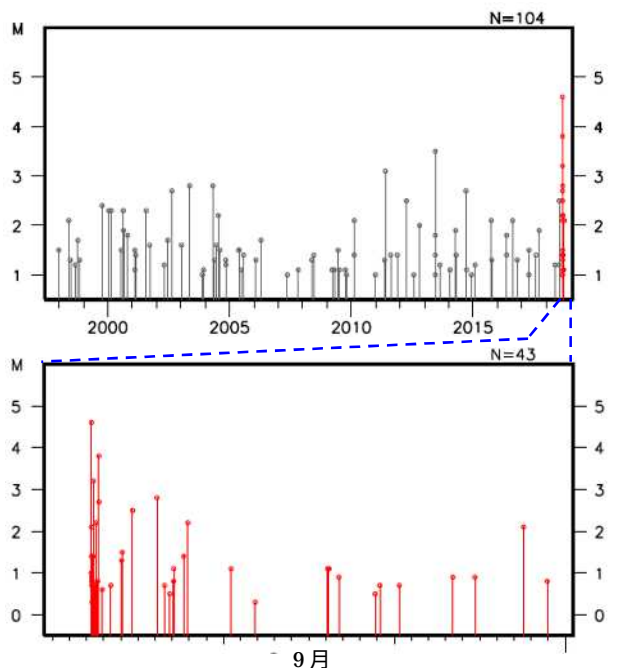


図3 図2領域a内の地震活動経過図
(上段：1997年10月1日～2018年9月30日 M 1.0、
下段：2018年 9月1日～2018年9月30日 Mすべて)

表1 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 1	2018年9月3日06時47分	山口県北西沖	34° 35.4' N 131° 20.8' E	16km	M4.6
長崎県	1	松浦市志佐町*			

注1) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
注2) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

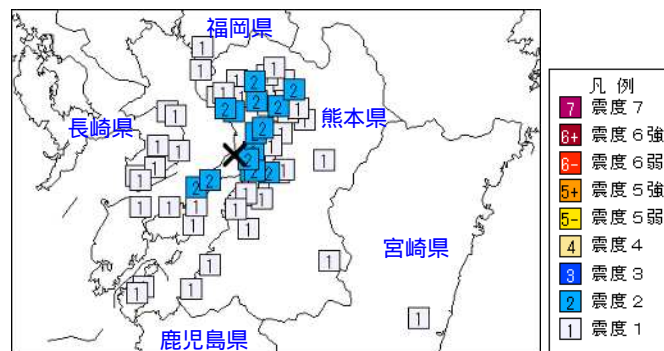
有明海

9日16時30分に有明海で発生したM3.7の地震(深さ12km)により、熊本県の熊本市、玉名市などで震度2を観測したほか、熊本県、福岡県、長崎県、宮崎県および鹿児島県で震度1を観測しました。長崎県では島原市、雲仙市および南島原市で震度1を観測しました(図4、表2)。

地震調査研究推進本部によると、熊本県熊本地方(図5領域b)及び阿蘇地方における「平成28年(2016年)熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続しており、現状程度の地震活動は当分の間続くと評価されています(図5、図6)。

「平成28年(2016年)熊本地震」に関しては、以下の気象庁ホームページを参照ください。
気象庁(熊本地震特設ページ)

http://www.jma.go.jp/jma/menu/h28_kumamoto_jishin_menu.html



9月9日 16時30分 M3.7
図4 震度分布図(観測点別、×:震央)

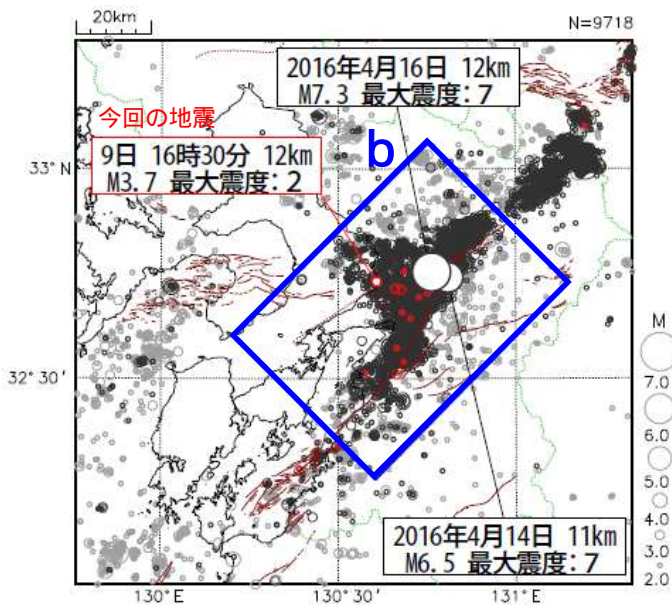


図5 震央分布図

(1997年10月1日~2018年9月30日 深さ0km~20km M 2.0)
2016年4月14日以降の地震を黒で、2018年9月の地震を赤で表示
図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

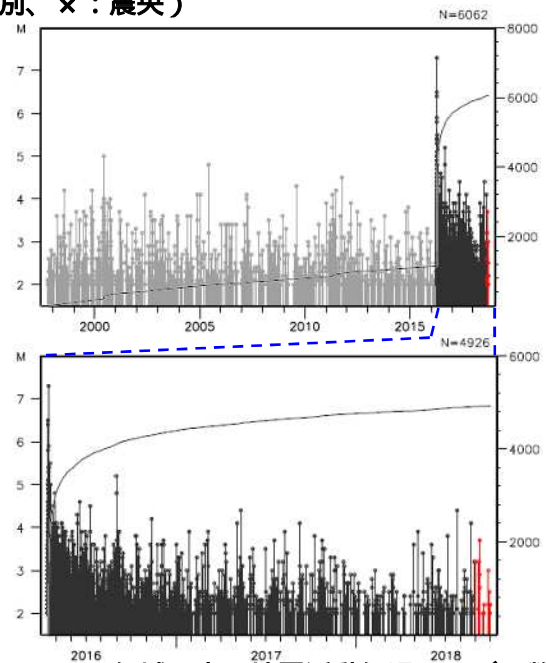


図6 図5領域b内の地震活動経過図及び回数積算図
(上段:1997年10月1日~2018年9月30日、
下段:2016年4月14日~2018年9月30日)

表2 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 2	2018年9月9日16時30分 有明海	32°43.9' N 130°36.4' E 12km M3.7
長崎県	1	島原市有明町* 雲仙市国見町 雲仙市小浜町雲仙 南島原市口之津町* 南島原市北有馬町* 南島原市深江町* 南島原市加津佐町*

注3) 震源要素(緯度・経度・深さ・M)は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注4) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

11月1日(木)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう!

気象庁では、11月1日に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかであり、その短い間に、あわてずに身を守るためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してみましょう。

➤ 訓練実施日時

平成30年11月1日(木) 10時00分頃

国の機関や地方公共団体(全国瞬時警報システム「Jアラート」経由)、民間の緊急地震速報を提供する配信事業者のうち、訓練への参加を計画している機関や団体に対して、訓練用の緊急地震速報を配信します。

➤ 訓練への参加方法

- ◇ お住まいの自治体の防災行政無線や商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。放送が聞こえたら、身を守る行動をとりましょう。
- ◇ 気象庁ホームページで公開している訓練用動画や、スマートフォンの訓練用アプリを使ってみましょう。
- ◇ 緊急地震速報を受信する端末をお持ちの方は、訓練用の緊急地震速報や受信端末に備わる訓練機能を利用してみましょう。

11月5日は津波防災の日

11月1日(木)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう!

緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てずに身を守る行動ができるようにしましょう

・平成30年11月1日(木)10時00分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。

※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール(エリアメール)には流れません。(一部のコミュニケーションMを除く)

・普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう!



頭を守って、安全な場所に避難!



危ない場所から離れて!



お店では、あわてず係員の指示に従って!

シェイクアウト訓練

➤ シェイクアウト訓練とは、地震の際の安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。当日、シェイクアウト訓練が行われる自治体にお住まいの場合は積極的に参加してみましょう。



気象庁マスコットキャラクターはれるんと Shakeoutキャラクターシェイククエイくん

詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eev/data/nc/kunren/2018/02/kunren.html>

緊急地震速報 訓練

